

平成 28 年度 第 1 回 御嵩町総合教育会議 議事録 (概要)

<p>開催日 開催場所 出席者</p>	<p>平成 28 年 6 月 1 日 (水) 御嵩町役場 公室 町長部局：渡邊町長、寺本副町長、加藤総務部長、須田総務防災課長、加藤行政 管財係長 教育委員会部局：高木教育長、細野教育委員長、田中教育委員、渡邊教育委員、 平井教育委員、田中教育参事、森主幹、亀井生涯学習課長、井澤学校教育係長</p>
<p>田中参事 渡邊町長 田中参事</p>	<p style="text-align: right;">開会 11:00</p> <p>これより平成 28 年度第 1 回御嵩町総合教育会議を開催します。 町長よりご挨拶申し上げます。</p> <p>首長が教育の面で責任をきちんと負うため、平成 27 年度よりこの会議 が発足した。教育に関し首長の責任が大きくなった。</p> <p>熊本地震が発生した。人間の本能として、避難先に自分の小学校を選 ぶ心理が働くという。学校は避難場所としての器である反面、親として は早期の学校再開を望み、意見が相反する場所でもある。</p> <p>町としては、熊本県小国町という環境モデル都市のつながりがある町 に職員 6 人を派遣した。この職員の体感として、避難所で活躍している のは小学生であったとのこと、小中学生は大きな戦力として期待をもっ てもいい存在であり、ただ保護する存在ではないと考えておいていただ きたい。</p> <p>この地域で発生が予想されている南海トラフ巨大地震がなかなか被害 想定など明らかにならないが、学校という存在は高めていきたい。</p> <p>本日の会議では外国語教育についての話題が中心となるが、こちらも 意見交換をしっかりとやりたいと思う。</p> <p>次第の 2. 外国語教育推進事業について説明する。</p> <p>資料 2 ページ、既に教育委員会で行っていることを含めて、平成 28 年 度に行う外国語教育の計画について説明する。将来はまちづくりなど町 全体で行いたいと考えているが、まずは教育委員会の取組みについて説 明する。</p> <p>まずねらいとして、小学校ではコミュニケーションのための素地を養 うこと、中学校ではその基礎を養うこと、生涯学習では外構人來訪客へ の対応ができることを掲げている。</p> <p>具体的には、1 の①として A L T の 2 人体制化を行い、各学校への派遣 を現状のほぼ 2 倍とする。外国人に慣れることが大事と考えている。</p> <p>②として外国語教育指導員を新たに設け、A L T と学校をつなぐ役割 を担っていただくもの。</p> <p>2 の①として国・県に対し外国語教育に関する指定校の指定を働きかけ ていくもの。</p> <p>②として外国語教育推進会議を設け、指導員が中心となって英語教師</p>

の連携、指導強化を図るもの。すでに5月に一度実施している。

③として、英検への補助を行い受験しやすい環境を整備するもの。

④として、小学生については夏休みにワークショップの一環として英語スピーチコンテストを行い、楽しみながら親しんでいくことを目的とするもの。中学生については、通常のコンテストのほか資料4ページ「教育のつどい」においても参加してもらうことで機会を増やすもの。

⑤として指導員を中心としてカリキュラムを整備していくもの。

⑥として外国語が母国語である東濃高校の生徒との交流により外国語に触れる機会を増やすこと。ただし、これを予定している夏休み期間は、これらの生徒がアルバイトで忙しく人数確保が困難であるかもしれないが、少人数でもやっていく。

3の①としてALTと指導員を活用して成人講座『英会話教室』を秋ごろから行うもの。

②として中山道みたけ館に外国語教育コーナーを設けるもの。

③としてみたけスポーツ文化倶楽部への支援を行っていくもの。

このような様々な施策を行うことで、地域で活躍できる人材を育成していきたいと考えている。またこれらの交流活動を通じて笑顔を増やしていきたいと考えている。

説明は以上ですがご意見があればお願いします。

この計画は素晴らしいこと。日本人の英会話能力はアジアでも大変低いと聞く。特に聞く力が無い。すぐにはできないためコツコツとやっていく必要がある。

スピーチ力と聞く能力が無いと、世界を見越してやっていくことができない。英語が公用語として使われている現在では、企業でも働けない。力を入れて取り組んでほしい。

具体的施策に対しては、その目標を立てることが必要だと思う。

平成3年にALTを入れてから、修学旅行など外国人に話しかけるようになった。指導員も活動量を増やしてほしいと要望している。

目標については、学力調査や期末テストなど前年と比較したり、英検の合格者数がどれだけ増えたか、生涯学習講座については参加人数がどうだったか、わかりやすくしていきたい。

幼稚園、保育園くらいの年代から外国語に触れられるのがいいと思う。

中学のテストの一部にヒアリングを取り入れたり、小学校ではどれだけ単語を覚えたか、細野委員長が言われたように評価をはっきりさせて取り組んでいくことが必要だと思う。

町全体として、外国人訪問客を接待できるよう、若いころから間違えながら慣れていくことが大事だと思う。

耳を慣らすため、例えば昼休みに外国語の物語などを流すなど、耳に残すこともよいのではないか。

英語の読み聞かせをすることでヒアリング能力が上がると聞く。

自分の子供も言っているが、自分の意見を英語で話せないと困ると言っており、高校生でも意識している。家庭での教育も大事だと思う。

細野教育委員長

教育長

細野教育委員長  
渡邊教育委員

細野教育委員長

田中教育委員

平井教育委員	<p>学ぶという考え方も必要だが、使う必要に迫られる機会も必要だと思う。家庭ではホームステイを呼び入れるなど外国語を使わなければ生活もできないような、学ぶばかりでなく自然と親しみが深まることも必要だと思う。</p>
渡邊町長	<p>言葉は周囲から聞いて得るもので他の学問とは違う。接することが大事。その頻度を高めていく必要がある。</p> <p>東濃高校の外国人生徒のなかでは経済的な事情を抱えている生徒も少なくない。アルバイトが忙しくて難しいなら、事業に参加してもらうことで報酬を出すなど柔軟性を持って取り組んでほしい。</p> <p>生徒たちの実態を知ること、工業団地でも正規ではないが通訳を担う子もいると聞く。外国語が話せるという武器が必要とされている。</p> <p>保育園の時期は、言葉に慣れ親しんでいく時期であり、自然な入り方ともいえる。</p> <p>みたけらしく、あるものは活用し、ないものは知恵を絞って取り組んでいく。</p>
教育参事	<p>外国語教育事業は始まったばかりであり、町全体で盛り上げていきたい。町長部局、教育委員会部局両方の課題として取り組んでいきたい。</p> <p>その他ご意見はございますか。</p>
細野教育委員長	<p>南海トラフ巨大地震が発生した場合、学校が避難所となり、先生が受け入れ態勢をとることになると思う。万が一の場合に備えた訓練や勉強会、学習会を開催してほしい。</p>
渡邊町長	<p>想定が難しい。平日か休日か、日中なのか夜なのか、想定できることが無限にあるので、おおよそのシナリオは作っておかなければならないと思っている。</p>
教育参事	<p>他にご意見等ありませんか。</p> <p>以上で第1回総合教育会議を終わります。</p>